

EeeTop PC

ユーザーマニュアル



ET2010 Series

J5404

第1版 第1刷

2010年4月

Copyright © 2010 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS) の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本マニュアルの記載内容には万全を期しておりますが、その内容を完全に保証するものではなく、記載内容は予告なしに変更することがあります。

もくじ

ご注意.....	5
このマニュアルの表記について.....	11
安全上の注意事項.....	12
ようこそ	13
パッケージの内容.....	13
お使いのEeeTop PCについて	14
正面.....	14
背面.....	16
側面.....	18
タッチ画面を使う(タッチパネルモデルのみ)	19
タッチポインターを表示する(タッチパネルモデルのみ)	19
タッチ画面の手入れをする(タッチパネルモデルのみ)	20
キーボードを使う	21
外部ディスプレイ(モニター)として使う.....	21
Function キー.....	22
EeeTop PCの位置を決める	24
デスク上に置く	24
壁に設置する(ウォールマウント対応モデルのみ)	25
EeeTop PCをセットアップする	26
有線キーボードとマウスを接続する.....	26
無線キーボードとマウスを接続する.....	26
システム電源を入れる	27
電源を切る.....	27
スクリーンのキャリブレーションを行う(タッチパネルモデルのみ)	28
無線接続を構築する.....	29
有線接続を構築する.....	30
静的 IP(スタティックIP)を使用する.....	30
動的 IP(ダイナミックIP)を使用する	32
オーディオ出力を設定する.....	36
スピーカーを設定する.....	36
スピーカーに接続する.....	36
オーディオ出力設定を行う.....	37

システムをリカバリーする	38
隠しパーティションを使用する.....	38
リカバリーDVDを使用する(別売)	40
Boot Booster.....	42
ASUS Easy Update	43
ASUSUpdate	44
インターネット経由でBIOSを更新する.....	44
BIOSファイルからBIOSを更新する.....	45
Eee Memo	46
Eee Memo を起動する	46
メモを書く.....	47
音声メモを録音する	48
ビデオメモを録画する.....	48
メモを印刷する	48
メールでメモを送信する.....	49
Eee Cam	50
Eee Cam を有効にする.....	50
Eee Cam を起動する	51
Eee Cam モード.....	51
特殊効果を適用する.....	52
ドローイングツール.....	53
写真を撮影する.....	53
ビデオを録画する.....	54
Capture (録画)	54
ドキュメントを共有する.....	54
その他の機能.....	54
Eee Cam の設定.....	55
Capture.....	55
Display.....	55
Document.....	56
Timestamp.....	56

ご注意

Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

注意:本デバイスの提供者が書面により承認していない変更または改定をすると、本装置のユーザー操作権が無効になることがあります。

RF発生障害警告

本装置は、所定の指示にしたがって据え付け、および操作してください。このトランスミッター用のアンテナは、すべての人から少なくとも20cm以上距離があくように、据え付けてください。また、他のアンテナやトランスミッターをあわせて据え付けたり、操作したりしないでください。エンドユーザーおよび据付者は、RF発生障害法令基準に適合するように、アンテナ設置説明書およびトランスミッター操作条件を提示しなければなりません。

Canadian Department of Communications Statement (原文)

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

IC Radiation Exposure Statement for Canada (原文)

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC) (原文)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

CE Mark Warning (原文)

This is a Class B product, in a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.



CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".



CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

Wireless Operation Channel for Different Domains (原文)

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands (原文)

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz



Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain	02 Aisne	03 Allier	05 Hautes Alpes	
08 Ardennes	09 Ariège	11 Aude	12 Aveyron	16 Charente
24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme	32 Gers	36 Indre
37 Indre et Loire	41 Loir et Cher	45 Loiret	50 Manche	55 Meuse
58 Nièvre	59 Nord	60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées Orientales	67 Bas Rhin		
68 Haut Rhin	70 Haute Saône	71 Saône et Loire	75 Paris	
82 Tarn et Garonne	84 Vaucluse	88 Vosges	89 Yonne	
90 Territoire de Belfort	94 Val de Marne			

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)



Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

分解禁止

ASUS以外の第三者が本製品を分解した場合、
保証サービスは無効となります。

液体のかかる場所での使用禁止

液体、雨、水分、油分がかかる恐れのある場所で使用しないでください。
本製品には防水加工は施されていません。

レーザー製品 クラス1レーザー製品



左のマークは、本製品が電気製品または電子装置であり、水銀を含むボタン電池を使用しており、地域のゴミと一緒に捨てられないことを示すマークです。廃棄の際は、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則等に従って下さい。

REACH (原文)

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://green.asus.com/english/REACH.htm>.

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950:2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されます。

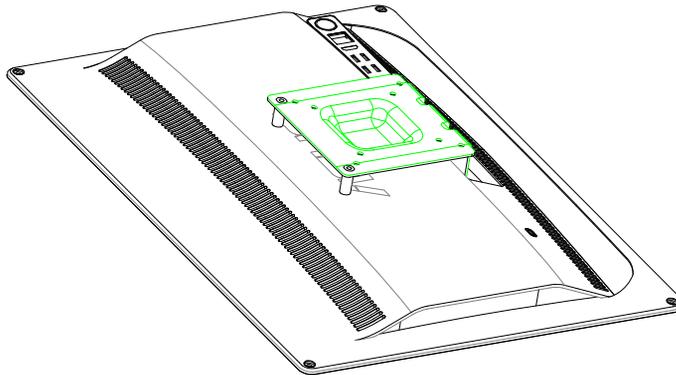
この規格に関する詳細情報は巻末の表、またはASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。



コンテンツは全て英語表記です。

UL規格について

UL安全規格が定める条件を満たすため、本機を壁掛け設置する場合は、本機の重量を考慮して設計され、安定性が保証されたアームを使用する必要があります。本機の壁掛け設置の際は、各規格・基準を満たすアームを使用する必要があります。(例:GSマーク)



壁掛け設置用のスタンドは最低 21kg の重量に耐えうるUL認可のものを使用する必要があります。

このマニュアルの表記について

所定タスクが適切に実行できるように、本マニュアル記載の次の記号に注意してください。



警告: 本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するための情報です。



重要: タスクを完了するために必ず行わなければならない事項です。



ヒント: 作業を完了するのに必要なヒントおよびお役立ち情報です。



注記: 特殊なケースに関する追加情報です。

このマニュアルに記載の図やスクリーンショットはすべて参照用です。実際の製品仕様やソフトウェア画像は、地域によって異なることがあります。最新の情報については、ASUSのWeb サイト (<http://www.asus.co.jp>) をご覧ください。

安全上の注意事項

本機は IT の最新安全規格を満たすよう設計されており、それら基準を満たすことが実証されていますが、より安全にお使いいただくため、ご使用前には以下の安全に関する注意事項をよくお読みください。

システムをセットアップする

- 本機を使用する前に、本マニュアルに記載の説明及び指示を熟読し、それに従ってください。
- 湿気のある場所および熱を発生する熱源のそばで本機を使用しないでください。
- 設置する際は安定した水平面に設置してください。
- ケースの開口部は通気孔です。紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。設置の際は、本体と壁などの間にスペースを空けて設置してください。また、通気孔に物を入れる等の行為はお止めください。
- 動作可能な温度環境は周囲温度 0°C ~ 40°C の間です。
- 延長コードを使用する際は、接続した全てのデバイスの定格電流の総量が、延長コードの定格電流を超過しないようにしてください。

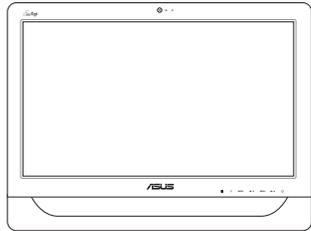
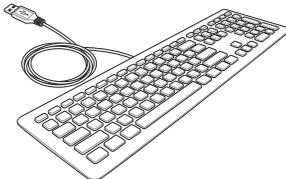
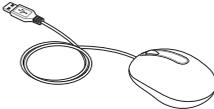
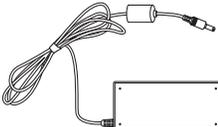
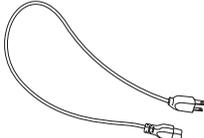
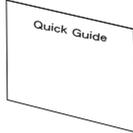
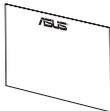
使用上の注意点

- 電源コードを踏まないでください。また、物を乗せないでください。
- システムに液体がかからないようにしてください。
- システムの電源が OFF のときも、微量の電流が流れています。システムのお手入れをする際は、必ず電源ケーブル、モデムケーブル、ネットワークケーブル等のケーブルを全て本体から抜いてください。
- タッチ画面のタッチ感度が落ちないようにするには、タッチ画面は定期的な手入れが必要です。画面は、異物や埃がたまらないように清潔にしておきます。
画面を手入れするには：
 - システム電源を切り、電源コードを外します。
 - 所定のクリーニングクロスの上に、家庭用ガラスクリーナーを少量吹きかけ、画面の表面をやさしく拭き取ります。
 - 画面にクリーナーを直接、吹きかけないでください。
 - 画面の手入れ時は、摩擦クリーナーや目の粗い布を使用しないでください。
- 以下のような技術的な問題が発生した場合は電源コードを抜き、サポートセンターにご相談ください。
 - 電源コード/プラグが破損している。
 - システム内部に液体が入った。
 - 本マニュアルの指示通りに操作してもシステムが正常に動作しない。
 - システムが落下した、またはキャビネットが破損した。
 - システムのパフォーマンスに異変が生じた。

ようこそ

EeeTop ET2010 シリーズをご購入いただき、ありがとうございます。セットアップを始める前に、パッケージの内容を確認してください。不足や破損等の問題がある場合は、お手数ですが弊社コールセンターにご連絡ください。

パッケージの内容

		
EeeTop PC ET2010 Series本体	キーボード (ワイヤ付または無線)	マウス(有線または無線)
		
ACアダプター	電源コード	クイックスタートガイド
	注： 1. 同梱物の内容はお買い上げの地域により異なります。 2. 図は全て参考です。実際の製品仕様や地域によって実際製品と形状が異なることがあります。	
製品保証書		



リカバリーディスクについて：

本製品にはリカバリーディスクが付属しておりません。ご希望のお客様には、ASUSのサポートセンターにて販売をさせていただいております。下記コールセンターまでご連絡ください。

ASUSコールセンター：

0800-123-2787 (通話料無料)

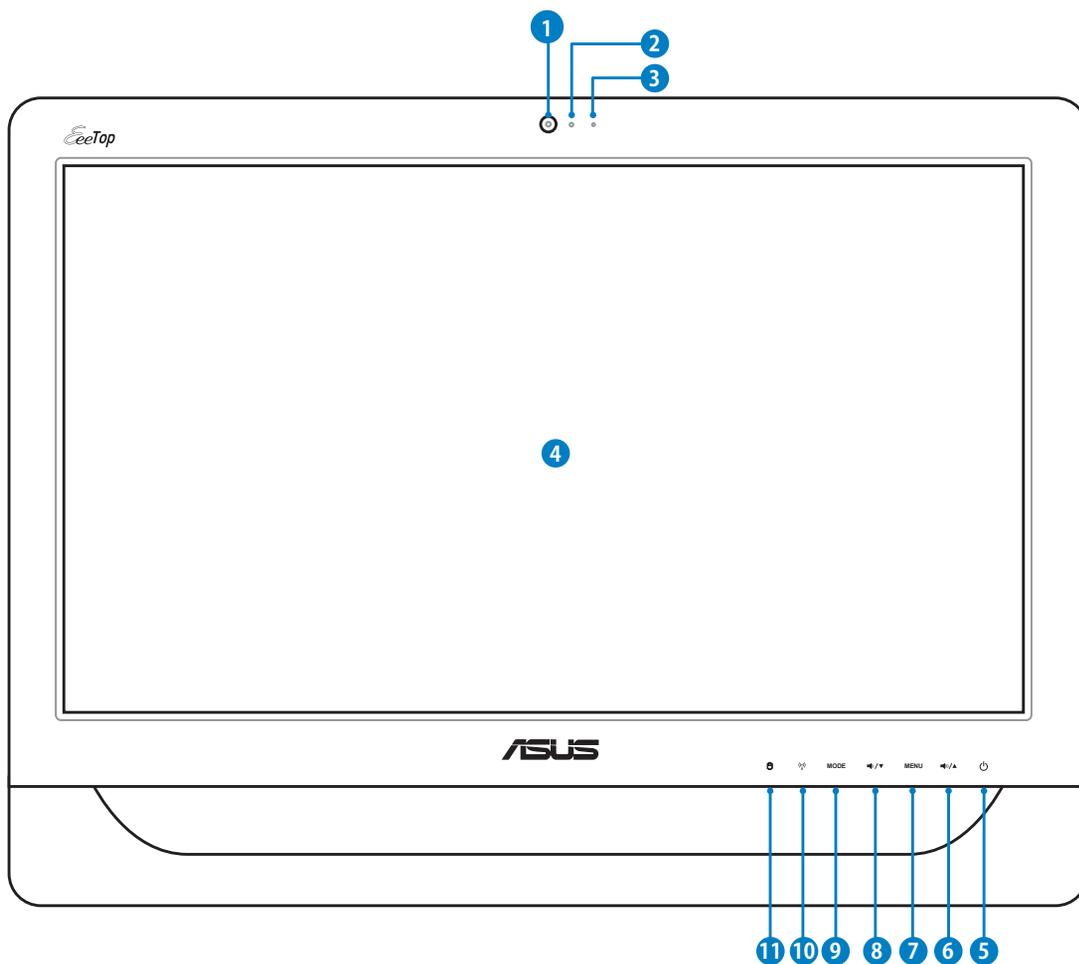
※携帯電話・PHSなどをご利用のお客様は047-390-5630 (通話料はお客様負担)

受付時間：平日／9:00～18:00、土日／9:00～17:00

(ただし、祝祭日・年末年始・弊社指定休業日を除く)

お使いのEeeTop PCについて

正面



- 1 ウェブカム**
内蔵デジタルマイクおよび内蔵ウェブカムを使うと、オンラインでビデオチャットができます。
- 2 ウェブカムLED**
内蔵ウェブカムが有効になっていることを示します。

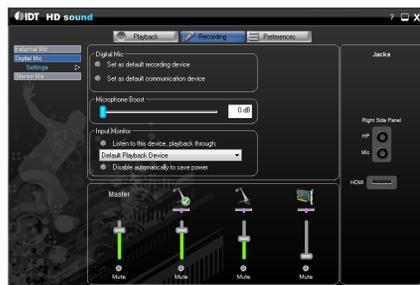
3 📡 デジタルマイク（内蔵型）

ビデオ会議や音声ナレーション、録音やマルチメディアアプリケーション等に
ご使用ください。



IDT Audio コントロールパネルでマイクのパフォーマンスを最適化することができます：

1. システムトレイの 🎵 アイコンをダブルクリックし「IDT Audio コントロールパネル」を開きます。
2. 「録音」タブをクリックし「マイクブースト」を調節してマイクのパフォーマンスを調節します。
3. 設定が終了したら「OK」をクリックします。



4 LCDディスプレイ（タッチ機能は特定モデルのみ）

最適解像度1600×900の20インチLCDディスプレイは、指で触れるだけでデジタル
ライフが楽しめるタッチ機能付です。

5 ⏻ 電源ボタン

システム電源をON/OFFにします。

6 ▲ ボタン

音量を上げるときに使用します。また、メニュー画面を上スクロールする際にも使
用します。

7 📄 メニューボタン

このボタンを押すとモニターメニューが表示されます。また、OSD（オンスクリーンデ
ィスプレイ）機能が有効なときは、このボタンでハイライト表示されたアイコン（機
能）の選択/起動することも可能です。

8 ▼ ボタン

音量を下げます。また、メニュー画面を下スクロールする際にも使用します。

9 🔄 モードボタン

ディスプレイ信号のソースを切り替えます。HDMI 入力を選択した場合、本機は標準
デスクトップLCDモニターとして使用することができます。

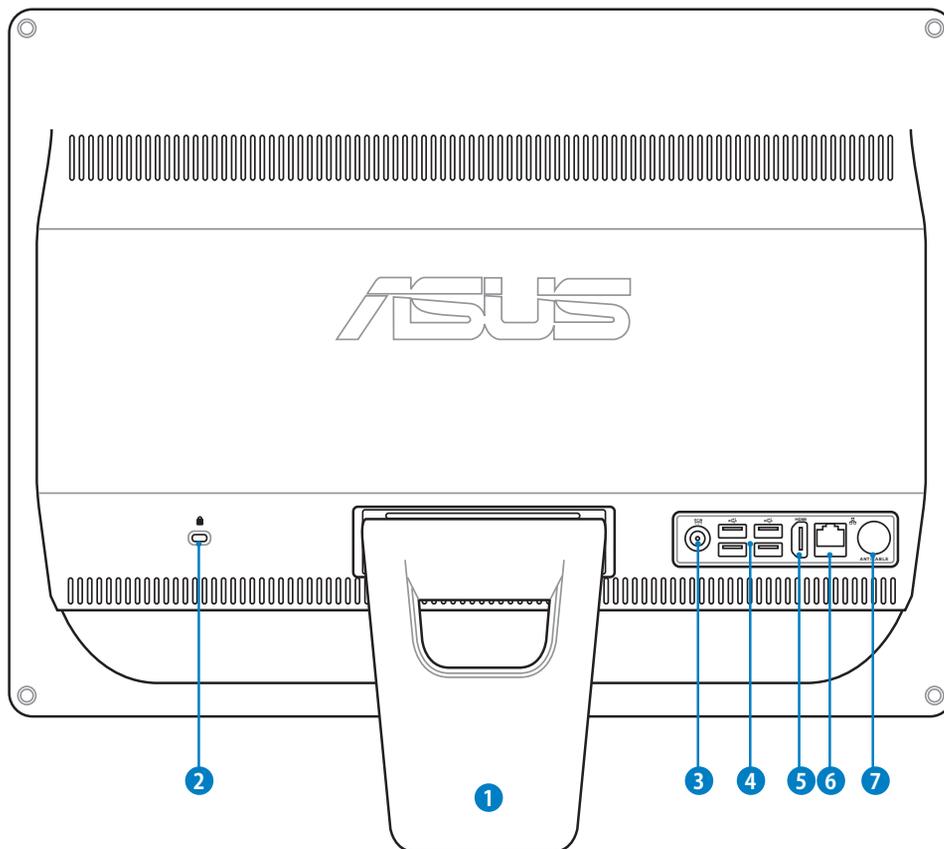
10 📶 無線LAN LED

内部無線LANが有効になっていることを示します。（無線LANを使うには、Windows®
ソフトウェア設定が必要です）

11 📀 ハードディスクドライブLED

ハードディスクドライブの動作状態を示します。

背面

**1 スタンド**

ディスプレイパネルの角度を調節します。

2  **Kensington® ロックポート**

Kensington® 互換セキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。これらのセキュリティ製品には通常メタルケーブルとロックが含まれ、固定された物体から本機を取り外せないようにしてあります。

3 電源入力 (DC 19V)

このジャックに付属のACアダプターを接続します。ACアダプターはAC電源をDC電源に変換し、本機に電力を供給します。本機の故障を防ぐため、常に付属のACアダプターを使用するようにしてください。



アダプターは使用中高温になることがあります。身体に密着させて使用しないでください。火傷の原因になります。

4 USB 2.0 ポート

USBポートは、キーボード、マウスデバイス、カメラやハードディスクドライブ等のUSBデバイスとの互換性があります。

5 HDMI-入力ポート

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は非圧縮型オールデジタルオーディオ/ビデオインターフェースです。セットトップボックスやDVDプレーヤー、A/V レシーバー等のオーディオ/ビデオソースに対応しています。なお、著作権保護技術の1つであるHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) にも対応していますので、著作権保護コンテンツの再生も可能です。

6 LANポート

8ピンRJ-45 LANポートは標準イーサネットケーブルに対応し、LANに接続することができます。

7 アンテナ入力 (特定モデルのみ)

付属のデジタルTV/FMアンテナを使用してTVまたはFMラジオ (オプション) 周波数信号を受信します。または契約したサービス提供元が提供するTV入力を利用することもできます。付属のアンテナはデジタルTVまたはFMラジオに対応しています。ケーブルサービスでは、ご契約の種類によりデジタルTVやアナログTV、FMラジオの受信が可能です。

注: コアキシャルコネクタには付属のアダプターをご使用ください。

側面

①  **メモリーカードリーダー**

メモリーカードを使用するには通常、メモリーカードリーダーの購入が必要ですが、本機にはメモリーカードリーダーが1基内蔵されており、デジタルカメラやMP3プレーヤー、携帯電話、PDAなどの装置で使用されるMMC / SD / SDHCカードを読み取ることができます。

②  **USB 2.0 ポート**

USBポートは、キーボード、マウスデバイス、カメラやハードディスクドライブ等のUSBデバイスとの互換性があります。

③  **マイクジャック**

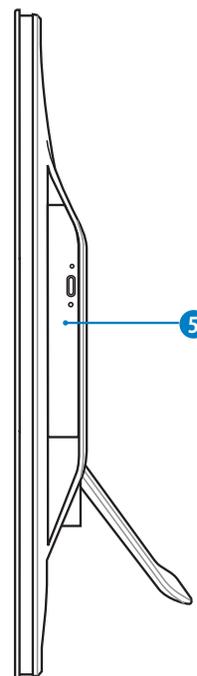
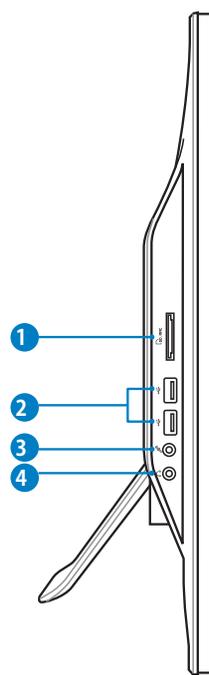
マイクジャックはマイクを接続し、ビデオ会議や音声ナレーションまたは簡単な録音等にご使用いただけます。

④  **ヘッドホン／オーディオ出力ジャック**

ステレオヘッドホンジャック (3.5mm) は、システムのオーディオをアンプスピーカーまたはヘッドホンを接続します。このジャック使用時は内蔵スピーカーは自動的に無効になります。

⑤  **光学ドライブ**

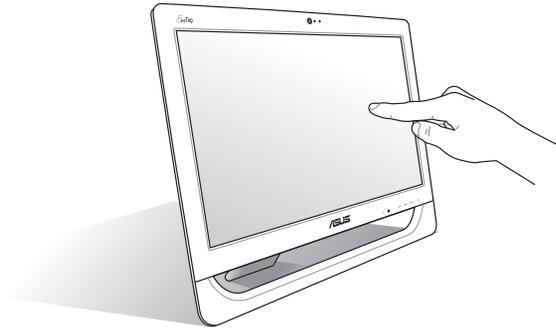
本機に内蔵されている光学ドライブはCD/DVDの書き込みをサポートした、トレイ式スーパーマルチドライブが搭載されています。



タッチ画面を使う(タッチパネルモデルのみ)

本機は、指で触れるだけでデジタルライフが楽しめます。指でタッチすることで、本機を思いどおりに使いこなすことができます。タッチすることで、マウスデバイスのような機能が利用可能です。

- タッチ=マウスの左クリック
- 3秒以上画面をタッチしたまま=マウスの右クリック



タッチ機能は特定モデルのみのサポートとなります。

タッチポインターを表示する(タッチパネルモデルのみ)

タッチポインターはバーチャルマウスで、タッチ機能がさらに便利にご利用いただけます。次の手順でポインターを表示させることが可能です。

1. Windows® デスクトップから「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」の順にクリックします。

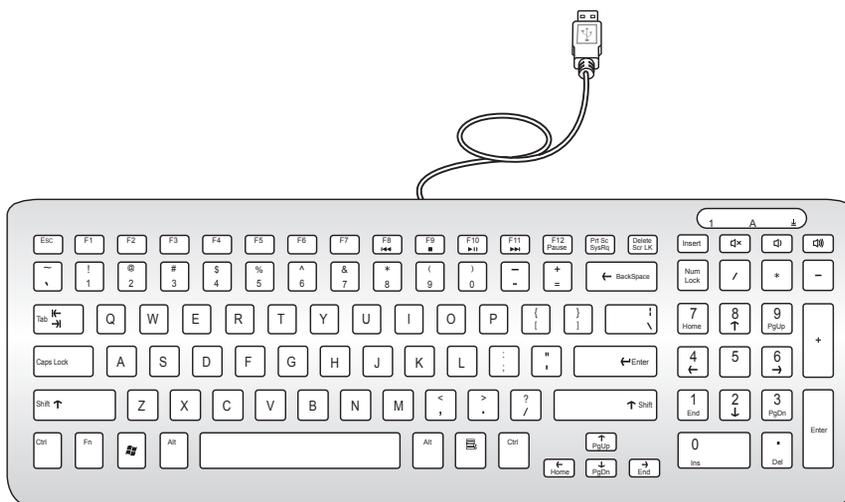


キーボードを使う

本機には、システムをコントロールするキーボードまたはワイヤレスキーボードが付いています。



下記のキーボードの図は参考用です。実際の製品仕様は地域によって異なることがあります。



外部ディスプレイ(モニター)として使う

本機はWindows OSを起動せずに外部ディスプレイとして使用することが可能です。外部ディスプレイとして使用する場合は、本機背面のHDMI入力ポートとHDMI機器をHDMIケーブルで接続し、HDMI機器の電源を入れた後に本機正面にある「モードボタン」を押して下さい。

Function キー

コマンドが表記されたキーについて説明します。コマンドは、Function キー<Fn>を押しながら、コマンドが表記されているキーを押して実行します。



注:<Fn>キーの内容とコマンドの内容はモデルによって異なります。



F1:システムをスリープ状態にします。(スリープボタン)



F2:コンピューター内のファイルを検索するウィンドウを表示します。



F3:メールクライアントを起動します(メールクライアントにより異なる)。



F4:Webブラウザを起動します。



F5:スピーカーをオンおよびオフにします。



F6:スピーカーの音量を下げます。



F7:スピーカーの音量を上げます。



F8:前のトラックに戻ります。



F9:再生中のファイルを停止します。



F10:再生中のメディアファイルを一時停止します。一時停止中に押すと一時停止を解除します。



F11:再生中のメディアファイルで、次のトラックに進みます。



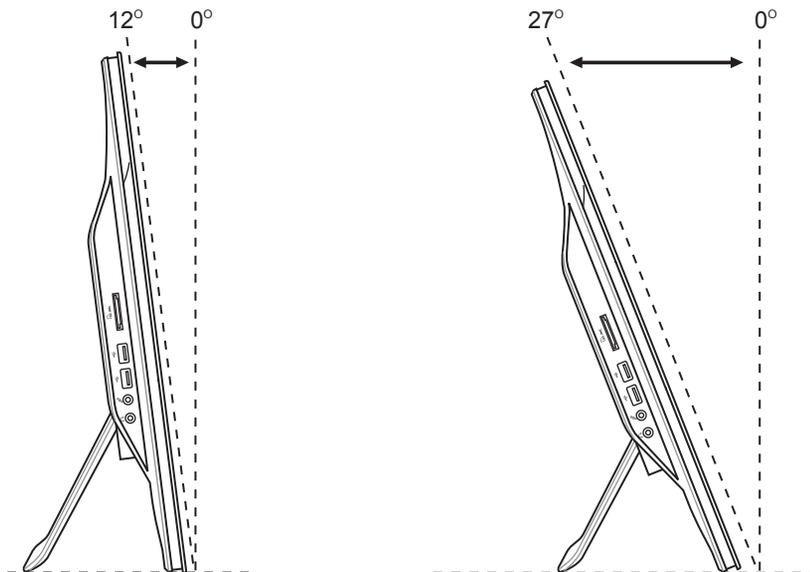
F12:Pauseキー。画面上で行われている処理を一時的に停止します。

-
-   <↑> **PageUp**:アクティブになっているウィンドウの内容を、約1画面分先頭方向に移動します。
-
-   <↓> **PageDown**:アクティブになっているウィンドウの内容を、約1画面分最後尾方向に移動します。
-
-   <←> **Home**:カーソルまたはウィンドウの内容を先頭まで移動します。
-
-   <→> **End**:カーソルまたはウィンドウの内容を最後尾まで移動します。
-
-   <Delete> **ScrollLock**:スクロールロックをオン及びオフにします。
-

EeeTop PCの位置を決める

デスク上に置く

本機をデスク等の安定した平らな場所に設置し、スタンドを引き出します。スタンドは所定の位置まで引き出すとカチッと音がします。続いて、ディスプレイパネルの角度を12～27°の間で調節します。



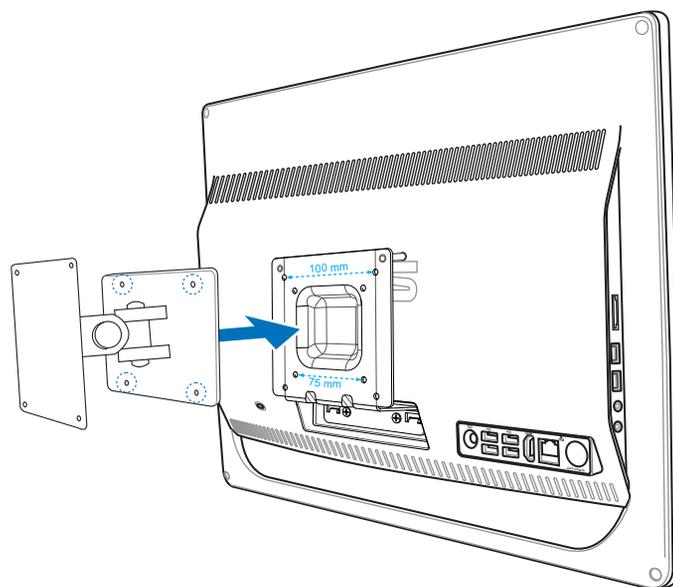
壁に設置する(ウォールマウント対応モデルのみ)

本機を壁に掛けるには、壁掛けキット(「VESA 75: 75mm x 75mm」、または「VESA100: 100mm x 100mm」)の購入が必要です。

1. 壁掛けキット(VESA75またはVESA100)をキットに付属のネジ(M4 x 16mm)で本機にしっかり固定します。



- 本書に記載の図は参考用です。実際とは異なる場合があります。
- 壁掛けキットとネジは本製品パッケージには付属していません。別途お買い求めください。



2. 壁掛けキットパッケージに入っている付属マニュアルに記載の指示にしたがって、壁掛けキットを壁に取り付けます。

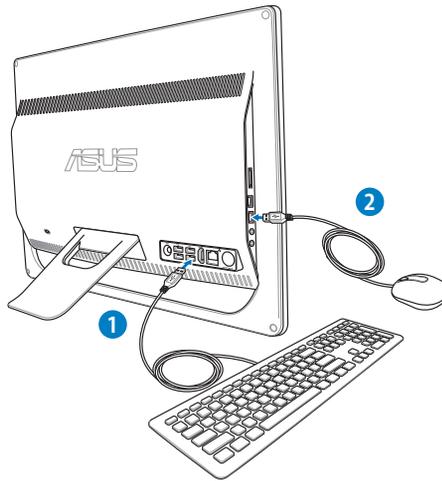


通気のため、設置の際は本機を壁から最低 6 cm 離してください。

EeeTop PCをセットアップする

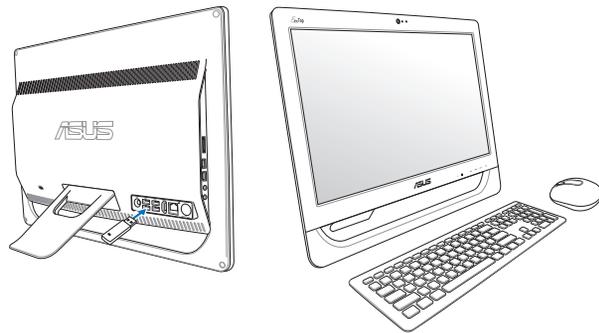
有線キーボードとマウスを接続する

キーボードとマウスをバックパネルのUSBポート(①)に接続します。ケーブルの長さが足りない場合は、左側のUSBポート(②)に接続します。



無線キーボードとマウスを接続する

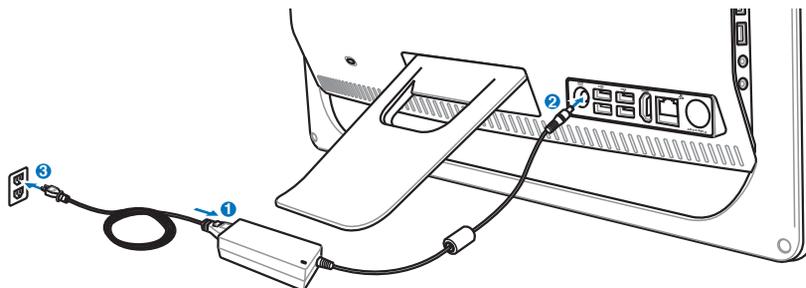
1. 無線キーボードとマウスに電池をセットします。
2. キーボードとマウスのレシーバーを本機のUSBポートに接続します。
3. 無線キーボードとマウスのセットアップが終了しました。



本マニュアルに記載の図は参考用です。キーボードとマウスの実際の外観および仕様(有線/無線)は、地域によって異なることがあります。

システム電源を入れる

付属のACアダプターをバックパネルのDC入力ジャックに接続し(①②③)、フロントパネルの電源スイッチ(④)を押し、電源を入れます。



警告: DCプラグをシステムに接続してから、AC電源コードをACコンセントに接続してください。接続順序を誤ると、AC-DCアダプターの故障の原因となる場合があります。



電源を切る

- Windows® 環境では正面パネルの電源ボタンを押すと、システムがシャットダウンします。
- システムのシャットダウンは、通常のWindows OSのシャットダウン手順でも行うことができます。



Windows® 環境の電源ボタンの動作はコントロールパネルの電源オプションより変更が可能です。

スクリーンのキャリブレーションを行う(タッチパネルモデルのみ)

本機にインストールされているWindows® 7にはタッチ画面精度を調整できるツールが標準で付属しています。

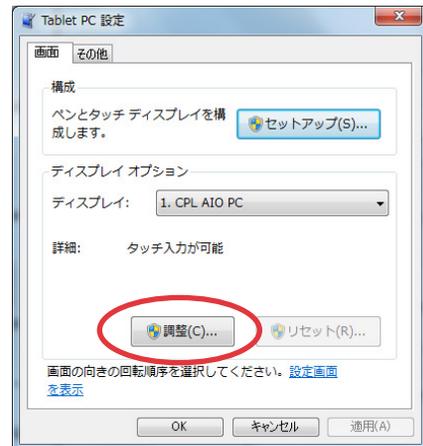


タッチ機能は特定モデルのみのサポートとなります。

1. Windows® デスクトップから「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「Tablet PC 設定」の順にクリックします。



2. ディスプレイオプション内の「調整」ボタンをクリックします。ユーザーアカウント制御が表示されるため「はい」をクリックします。



3. 画面に表示される指示に従い、スクリーンに表示される十字の中心をタップし調整を行います。すべて完了したら調整データを保存します。



無線接続を構築する

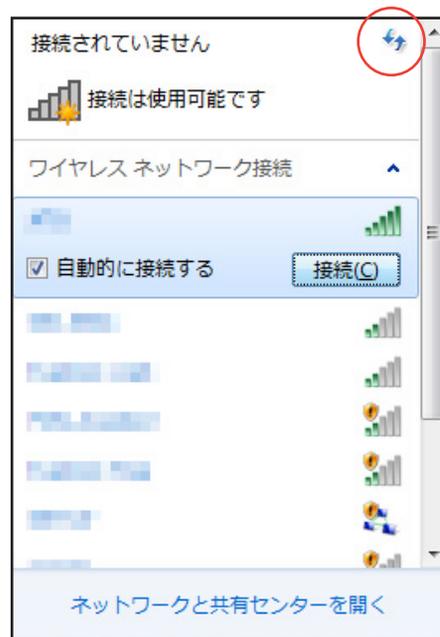
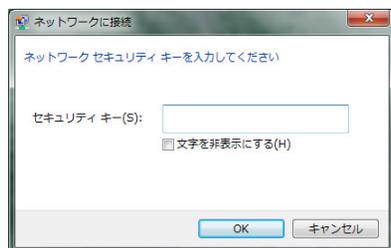
1. タスクバーの通知領域にある無線ネットワークアイコン  をクリックします。
2. リストから接続する無線アクセスポイントを選択し、「接続」をクリックし、接続します。



アクセスポイントが表示されない場合は、画面右上のアイコン  をクリックし、再検索してください。



ネットワークキー設定がされたネットワークでは、接続の過程で、ネットワークキーの入力が必要な場合があります。



3. 接続が確立すると、その接続名がリストに表示されます。
4. タスクバーの通知領域に無線ネットワークアイコン  が表示されます。

有線接続を構築する

静的 IP (スタティック IP) を使用する

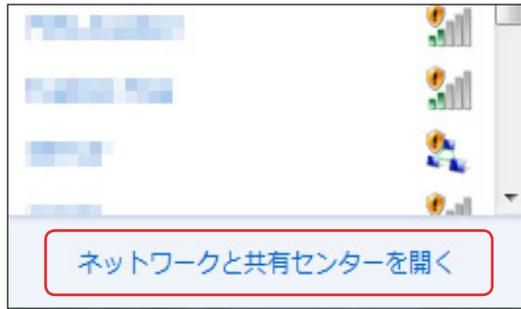
1. タスクバーの通知領域にあるネットワークアイコンをクリックし、「**ネットワークと共有センターを開く**」を選択します。



ネットワークアイコンを右クリックし「**ネットワークと共有センターを開く**」をクリックすることでも同じ操作が行えます。



LANケーブルが接続されていることをご確認ください。



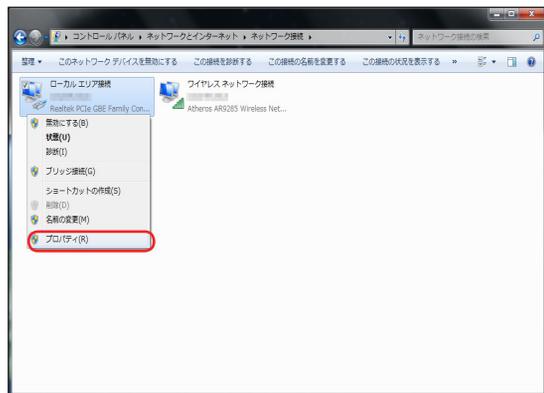
2. 左メニューの「**アダプターの設定の変更**」をクリックします。



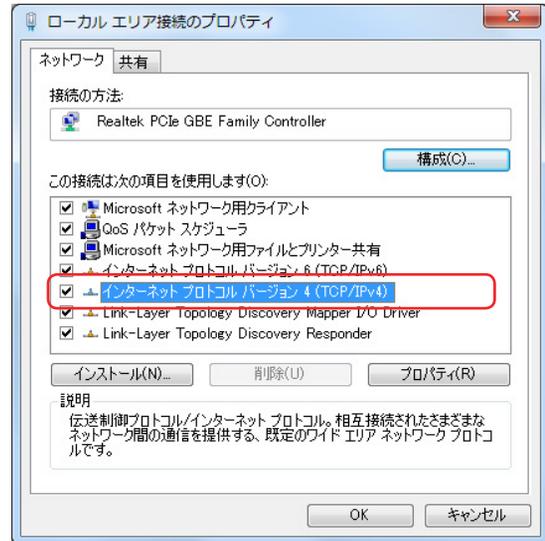
3. IPを固定したいネットワークをダブルクリックし、「**プロパティ**」をクリックします。



ネットワークを右クリックし「**プロパティ**」をクリックすることでも同じ操作が行えます。



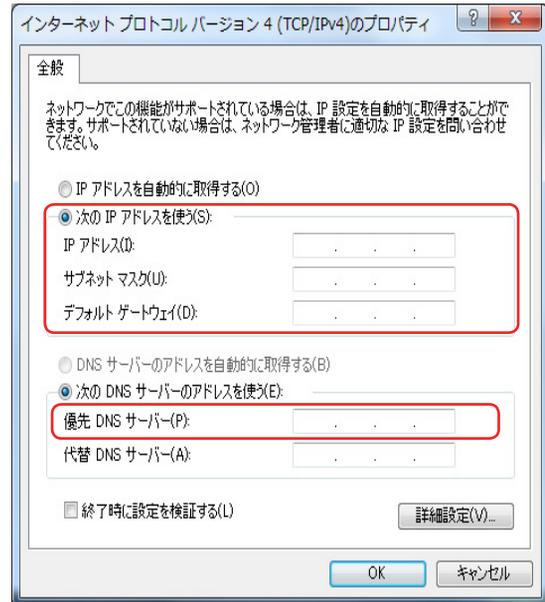
- 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



- 「次のIPアドレスを使う」を選択します。
- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力します。
- 「優先 DNS サーバー」を入力します。
- 全て入力したら「OK」をクリックし、設定は完了です。

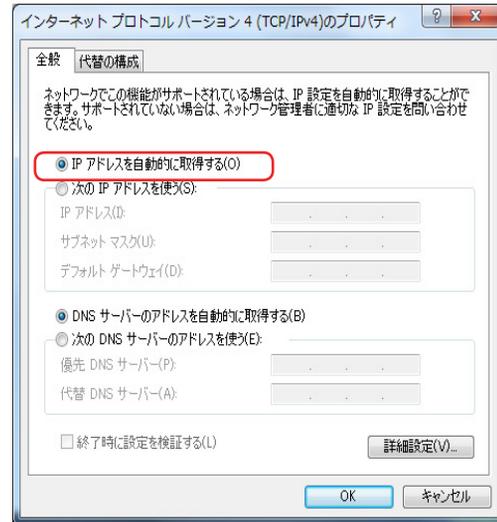


ネットワークの接続方法についてはご契約のプロバイダによって異なる場合がございます。その場合はネットワーク管理者やプロバイダにお問い合わせ下さい。



動的 IP (ダイナミックIP) を使用する

1. 動的 IP を使用する場合も、「静的 IP を使用する」の手順 1~3 まで同様の設定を行います。
2. 「IP アドレスを自動的に取得する」をクリックし、「OK」をクリックします。



パソコン上にIDやパスワードの設定が必要なプロバイダ様の場合(PPPoE接続)

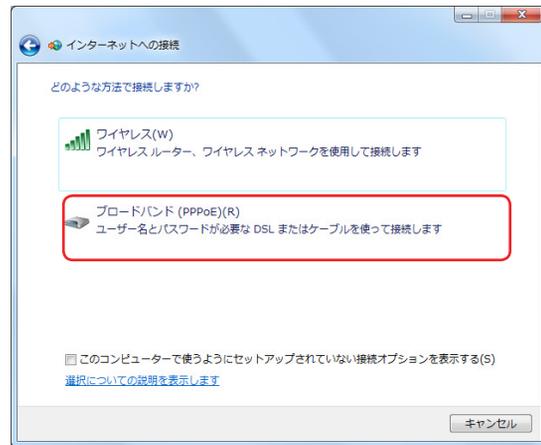
1. 「静的 IPを使用する」の手順 1と同様の手順で「ネットワークと共有センター」を開き、「**新しい接続またはネットワークのセットアップ**」をクリックします。



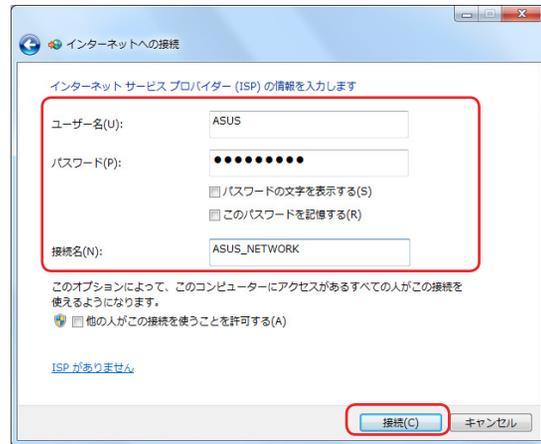
2. 「**インターネットに接続します**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



3. 「ブロードバンド(PPoE)」を選択し、「次へ」をクリックします。



4. ユーザー名とパスワード、接続名を入力し、「接続」をクリックします。



5. 接続が成功したら「閉じる」をクリックしてください。設定は完了です。



6. タスクバーの通知領域のネットワークアイコンをクリックし、構築したネットワークをクリックします。



7. ユーザー名とパスワードを入力します。「接続」をクリックしインターネットに接続します。



ネットワークの接続方法についてはご契約のプロバイダによって異なる場合がございます。その場合はネットワーク管理者やプロバイダにお問い合わせ下さい。

オーディオ出力を設定する

本製品は各種オーディオ設定をサポートしており、ステレオスピーカーの使用により、オーディオシステムを構築可能です。

スピーカーを設定する

以下のスピーカー設定が可能です。

名称	スピーカーシステム
2チャンネル(ステレオ)	スピーカー(左)、スピーカー(右)

オーディオジャック	ヘッドセット/2チャンネル
	オーディオ出力
	マイク入力



ステレオスピーカーセットは、左右、2チャンネルスピーカーで構成されるシステムです。マルチチャンネルオーディオスピーカーに、左右フロントスピーカーと左右リアスピーカー(サラウンド)チャンネルで構成されるシステムです。

スピーカーに接続する

左パネルの各オーディオジャックとその機能に関しては、下表をご参照ください。

ステレオスピーカーまたはヘッドホン

オーディオジャック	説明
	ステレオスピーカーまたはヘッドホンを接続します。

オーディオ出力設定を行う

スピーカーシステムを本機に接続した後、下の手順に従ってスピーカーの設定を行います。

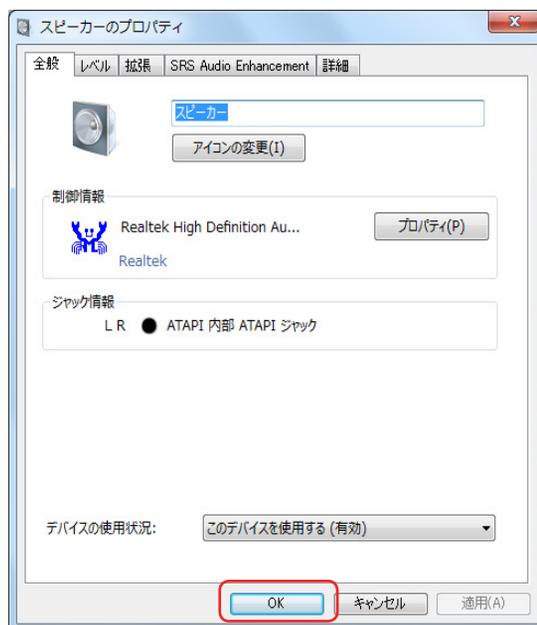
1. タスクバーの通知領域のスピーカーアイコンを右クリックし、「再生デバイス」を右クリックします。



2. 再生デバイスを選択し、「プロパティ」をクリックします。



3. 各種レベル調節や出力レート等の調整をお好みに合わせ設定・調整します。終了したら「OK」をクリックします。



システムをリカバリーする

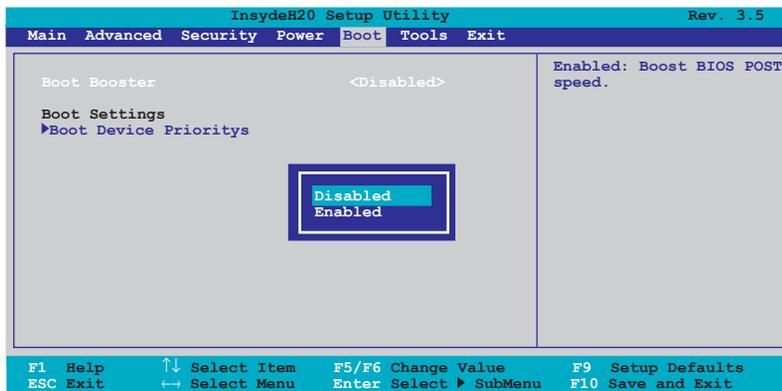
隠しパーティションを使用する

リカバリーパーティションには工場出荷時にコンピューターにインストールされたOSイメージ及び各ドライバー、各ユーティリティ等が保存されています。リカバリーパーティションは優れたリカバリーソリューションで、ハードディスクドライブが正常に動作していれば本機のソフトウェアを本来の動作状態に復元します。この機能を使用する前には必ずデータファイル（Outlook PST ファイルなど）をフロッピーディスクやネットワークドライブなどにコピーし、また各ユーザー設定（ネットワーク設定等）もバックアップしてください。

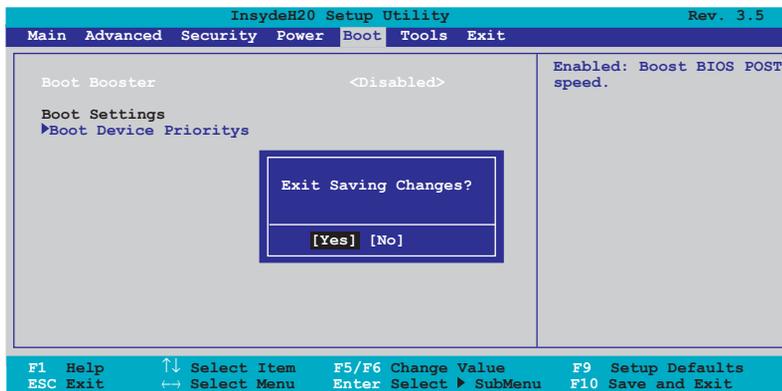
1. システムを起動し、起動時に <F2> を押してPOST画面を表示させます。<F2> を再び押してBIOS Setup プログラムに入ります。
2. **Boot Booster** を [Disabled] に設定します。



上記の操作を実行してもPOST画面が表示されない場合、またはBIOS Setup が起動しない場合は、システムを再起動し、起動時に<F2>を繰り返し押してください。



3. <F10> を押して設定を保存し、本機を再起動します。



4. EeeTop ロゴが表示されたら、<F9> キーを押します (リカバリーパーティションが必要です)。
5. Windows Boot Managerが表示されたら、Windows Setup [EMS Enabled]を選択した状態で <Enter>を押します。
6. リカバリーの画面が表示されたら、リカバリーするパーティションを選択し「NEXT」をクリックします。

Recover system to a partition

選択したパーティションのみをリカバリーします。選択した以外のドライブの内容は削除されません。

7. その後は画面上の指示に沿って、リカバリーを実行してください。



システムリカバリーを実行すると、ユーザーのデータは全て消去されます。システムリカバリーの前は、必ずデータのバックアップを行ってください。

8. リカバリーが完了したら、システムを再起動します。
9. 言語、タイムゾーン、キーボード、コンピュータ名、ユーザー名を設定し、Windows® OSを起動します。

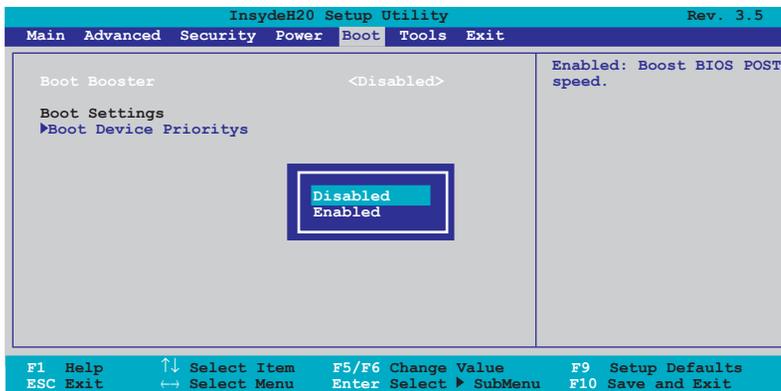
リカバリーDVDを使用する(別売)

リカバリーDVDには、OS イメージ及び各ドライバ、各ユーティリティ等が保存されています。リカバリーDVDは優れたリカバリーソリューションで、ハードディスクドライブが正常に動作していればノートパソコンのソフトウェアを本来の動作状態に復元します。この機能を使用する前には必ずデータファイル (Outlook PST ファイル等) をフロッピーディスクやネットワークドライブなどにコピーし、また各ユーザー設定 (ネットワーク設定等) もバックアップしてください。

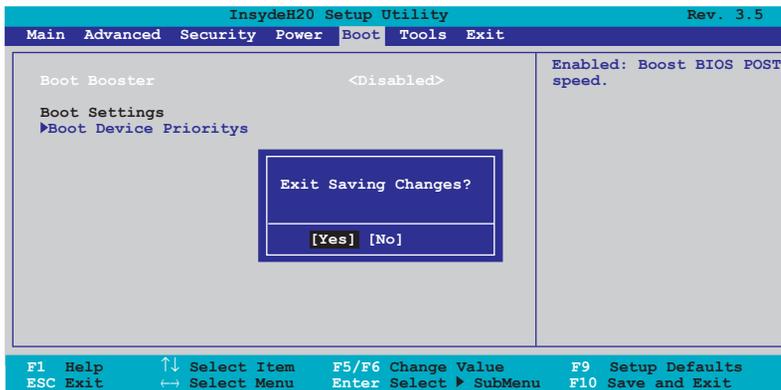
1. システムを起動し、起動時に <F2> を押してPOST画面を表示させます。<F2> を再び押してBIOS Setup プログラムに入ります。
2. **Boot Booster** を [Disabled] に設定します。



上記の操作を実行してもPOST画面が表示されない場合、またはBIOS Setup が起動しない場合は、システムを再起動し、起動時に<F2>を繰り返し押ししてください。



3. <F10> を押して設定を保存し、本機を再起動します。



4. EeeTop ロゴが表示されたら、< Esc > を押して「**Boot Manager**」メニューを開きます。
5. サポートDVDを光学ドライブに入れ、光学ドライブを起動デバイスに設定します。続いて< Enter > を押し、任意キーを押してリカバリーを続行します。
6. 「**ASUS Support DVD**」ウィンドウが表示されたら、新しいシステムをインストールする場所を選択します（最低 20GBの空き容量が必要）。
選択オプションは以下の2つです。

Recover system to a partition

選択したパーティションのみをリカバリーし、他のパーティションはそのまま、新しいシステムパーティション;ドライブ「C」を作成します。リカバリーするパーティションを選択し「**NEXT**」をクリックします。

Recover system to entire HD

ハードディスクドライブからパーティションを全て削除し、新しいシステムパーティション;ドライブ「C」を作成します。このオプションを選択した場合は「**Yes**」をクリックしリカバリーを実行します。



「**Recover system to entire HD**」を選択した場合、リカバリーパーティション（隠しパーティション）は削除されます。通常リカバリーを行う場合は「**Recovery system to a partition**」を選択して下さい。削除してしまったリカバリーパーティションの復旧は有料オプションとなります。

7. その後は画面上の指示に沿って、リカバリーを実行します。



システムリカバリーを実行すると、ユーザーのデータは全て消去されます。システムリカバリーの前は、必ずデータのバックアップを行ってください。

8. システムリカバリーが完了したら、コンピュータを再起動します。
9. 言語、タイムゾーン、キーボード、コンピュータ名、ユーザー名を設定し、Windows® OSを起動します。



- このサポートDVDは本機専用です。他のコンピュータには使用しないでください。アップデートについては、ASUSのWeb サイト (<http://www.asus.co.jp>) をご覧ください。
- システムリカバリー完了後はBoot Boosterを有効にすることをお勧めいたします。



リカバリーディスクについて：

本製品にはリカバリーディスクが付属していません。ご希望のお客様には、ASUSのサポートセンターにて販売をさせていただいております。下記コールセンターまでご連絡ください。

ASUSコールセンター：

0800-123-2787（通話料無料）

※携帯電話・PHSなどをご利用のお客様は047-390-5630（通話料はお客様負担）

受付時間：平日／9:00～18:00、土日／9:00～17:00

（ただし、祝祭日・年末年始・弊社指定休業日を除く）

Boot Booster

BIOSセットアップ項目「Boot Booster」を有効にすると、システムの起動時間は短くなりますが、システムコンポーネントを変更したり、システムリカバリーを外部オプションドライブ、または非表示になったパーティションから行う場合は、事前にこの項目を無効にする必要があります。以下の指示に従って、Boot Booster を無効にしてください。

Boot Booster を利用するには以下の条件を満たす必要があります。



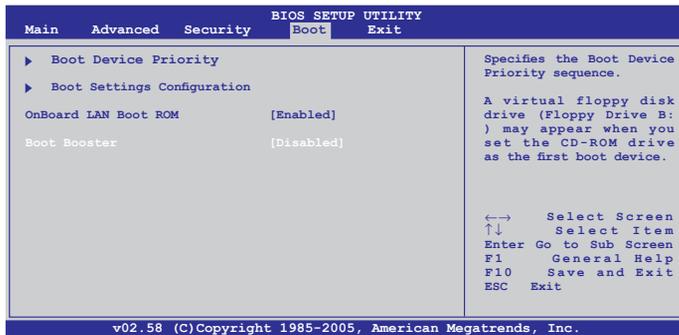
- 出荷時にバンドルのOSを使用する。
- SATA2ハードディスクを使用している場合は、ハードディスクのパスワードを全て無効にする。
- BIOS起動時のパスワードを設定しない。

1. システムを起動し、起動時に **<F2>** を押してPOST画面を表示させます。**<F2>** を再び押ししてBIOSセットアップに入ります。



上記の操作を実行してもPOST画面が表示されない場合、またはBIOSセットアップが開かない場合は、システムを再起動し、起動時に**<F2>**を繰り返し押してください。

2. **Boot Booster** を [Disabled] に設定します。



3. **<F10>** を押して設定を保存し、システムを再起動します。



作業完了後は、Boot Boosterを [Enabled] に設定することをお勧めします。



本書に記載の図は参考用です。実際とは異なる場合があります。

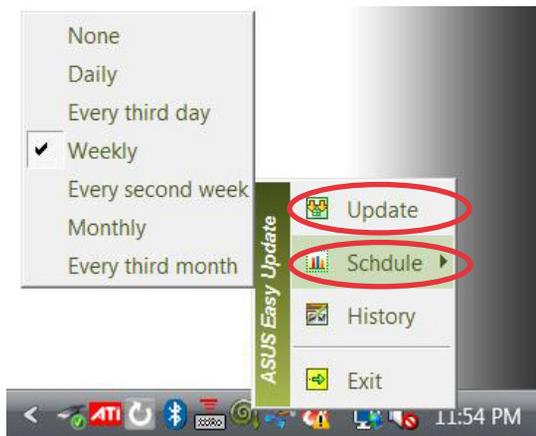
ASUS Easy Update

ASUS Easy Update はお使いのEee Top用の最新BIOS、ドライバ、アプリケーションを自動的に検出してダウンロードするツールです。

1. Windows® システムトレイから、「**ASUS Easy Update**」アイコンを右クリックします。



2. 「**Schedule (スケジュール)**」を選択して、システムを更新する頻度を設定します。
3. 「**Update (更新)**」を選択して更新を有効にします。



4. 「**OK**」をクリックして、ダウンロードできる項目を表示します。



5. ダウンロードする項目をクリックし、「**OK**」をクリックします。

ASUSUpdate

ASUSUpdate はEeeTop PCのBIOSをWindows® 環境で管理/保存/更新できるツールです。機能は以下のとおりです。

- 使用中のBIOSファイルの保存
- 最新のBIOSファイルのダウンロード
- 更新したBIOSファイルからのBIOS更新
- インターネット経由でのBIOSの直接更新
- 現在のBIOSバージョン情報の閲覧

本ユーティリティは本機にプリインストールされています。また、付属のサポートDVDにも収録されています。

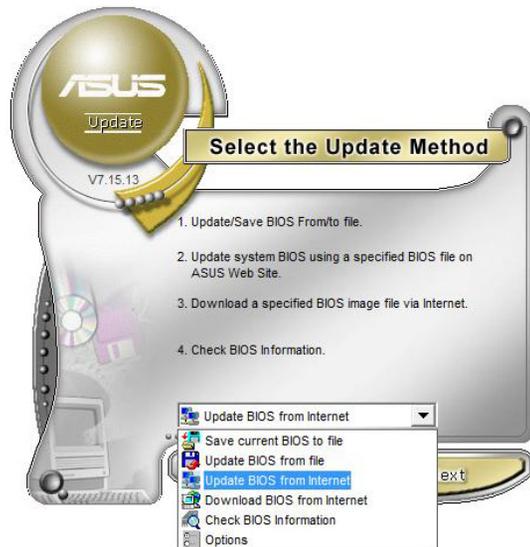


ASUS Update の利用には、ネットワーク経由またはプロバイダ経由でのインターネット接続が必要です。

インターネット経由でBIOSを更新する

手順

1. デスクトップから「スタート」→「プログラム」→「ASUS」→「ASUSUpdate for EeeTop PC」→「ASUSUpdate」の順にクリックし、ASUS Update を起動します。起動すると、メイン画面が表示されます。
2. リストから「Update BIOS from Internet (インターネットからBIOSをアップデート)」を選択し、「Next (進む)」をクリックします。



3. 最寄りの ASUS FTP サイトを選択するか、「**Auto Select (自動選択)**」を選択し、「**Next (進む)**」をクリックします。
4. FTPサイトからBIOSバージョンを選び「**Next (進む)**」をクリックします。
5. 画面の指示に従い、更新プロセスを完了します。



ASUS Update はインターネット経由でバージョン更新が可能です。定期的に更新することをお勧めします。



BIOSファイルからBIOSを更新する

手順

1. デスクトップから、「スタート」→「プログラム」→「ASUS」→「ASUSUpdate for EeeTopPC」→「ASUSUpdate」の順にクリックし、ASUS Update を起動します。起動すると、メイン画面が表示されます。
2. リストから「**Update BIOS from file (ファイルからBIOSをアップデート)**」を選択し、「**Next (進む)**」 をクリックします。
3. OpenダイアログからBIOSファイルを探し、「**Open (開く)**」をクリックします。
4. 画面の指示に従い、更新プロセスを完了します。



Eee Memo

Eee Memo は電子付箋メモアプリケーションです。指先やスタイラスペンを使って、タッチスクリーンにご家族や自分用のメモを書くことができます。



Eee Memo は、タッチ機能有効のLCDを搭載したモデルでのみ利用できます。

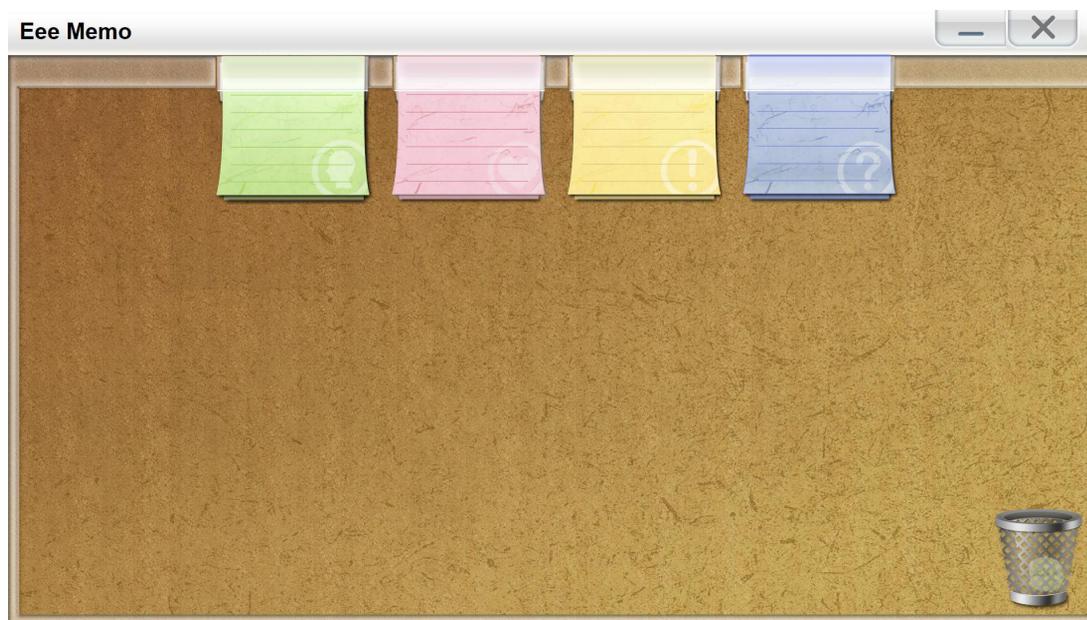
Eee Memo を起動する

プログラムを起動するにはデスクトップの「**Eee Memo**」アイコンをクリックします。

クリックすると、Eee Memo ボードが表示されます。



Eee Memo



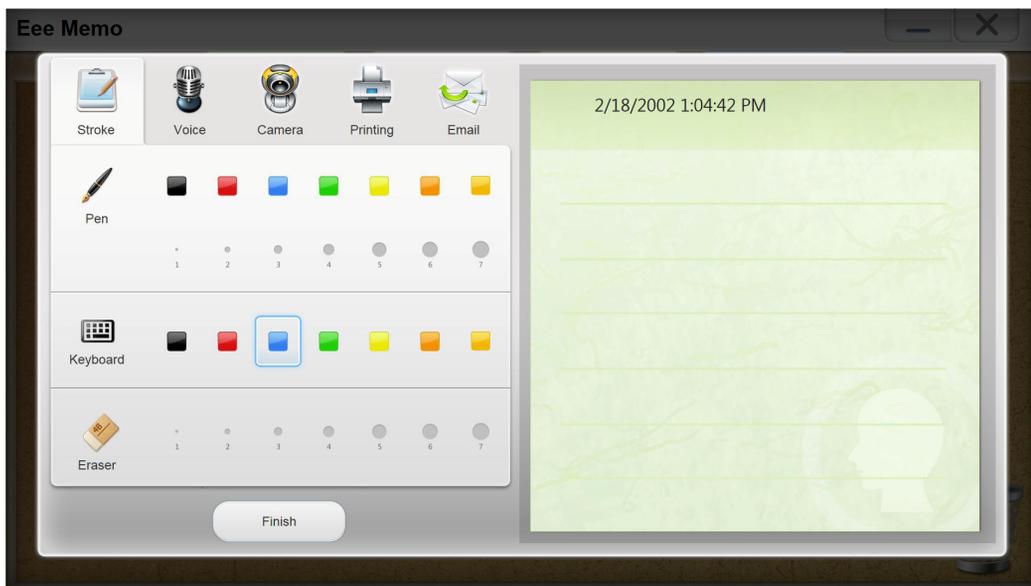
メモを書く

1. Eee Memo を起動します。
2. 色の付いた付箋メモをタッチし、メモを記入します。
3. 文字の色とサイズを選択し、キーボードまたは指先で直接メモに記入します。
記入した内容を消すには「Eraser(消しゴム)」を使用します。

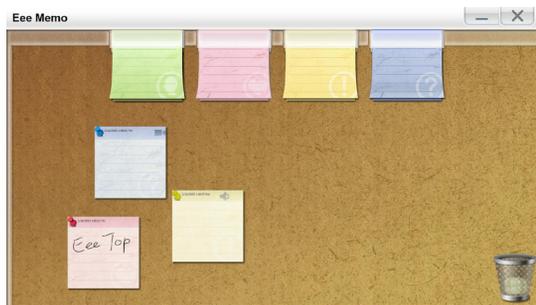


キーボード入力した文字は、Eraser(消しゴム)で消すことができません。

4. 記入が終了したら「Finish(終了)」をクリックします。



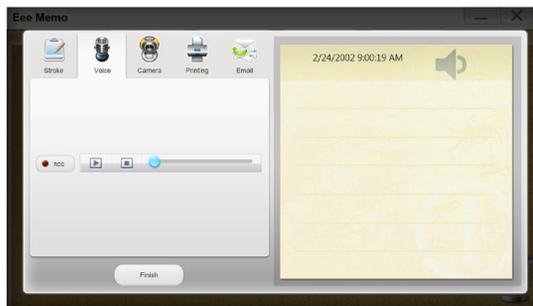
5. 書いたメモは Eee Memo ボードに貼り付けられます。メモはドラッグしてボードの好きな場所へ移動できます。



6. ボード上のメモを削除するには、メモをドラッグして画面の右下角にあるごみ箱へ入れます。

音声メモを録音する

1. Eee Memo を起動します。
2. 色の付いた付箋メモをタッチし、「Voice (音声)」タブを選択します。
3. 「REC (録音)」ボタンをクリックし音声メモの録音を開始します。録音が終了したら「Stop (停止)」をクリックします。
4. 「Finish (終了)」をクリックすると、スピーカーアイコン付きのメモがEee Memo ボードに表示されます。



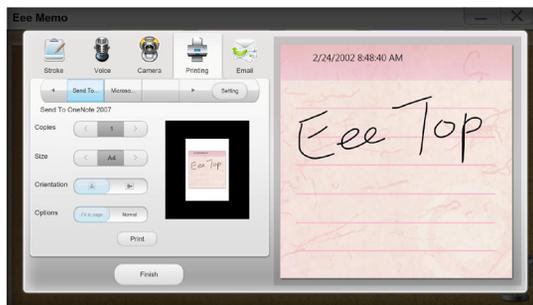
ビデオメモを録画する

1. Eee Memo を起動します。
2. 色の付いた付箋メモをタッチし、「Camera (ビデオ)」タブを選択します。
3. 「REC (録画)」ボタンをクリックしビデオメモの録画を開始します。録画が終了したら「Stop (停止)」をクリックします。
4. 「Finish (終了)」をクリックすると、ビデオカメラのアイコン付きのメモがEee Memo ボードに表示されます。



メモを印刷する

1. Eee Memo を起動します。
2. 印刷するEee Memo ボード上のメモをダブルクリックします。
3. 「Printing (印刷)」タブを選択します。
4. 印刷枚数、用紙サイズ、印刷の向き等を設定します。
4. 続いて「Print (印刷)」をクリックし、メモを印刷します。

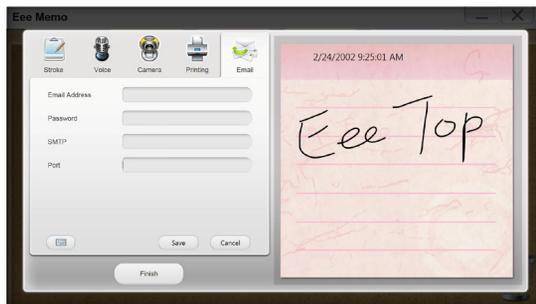


メールでメモを送信する

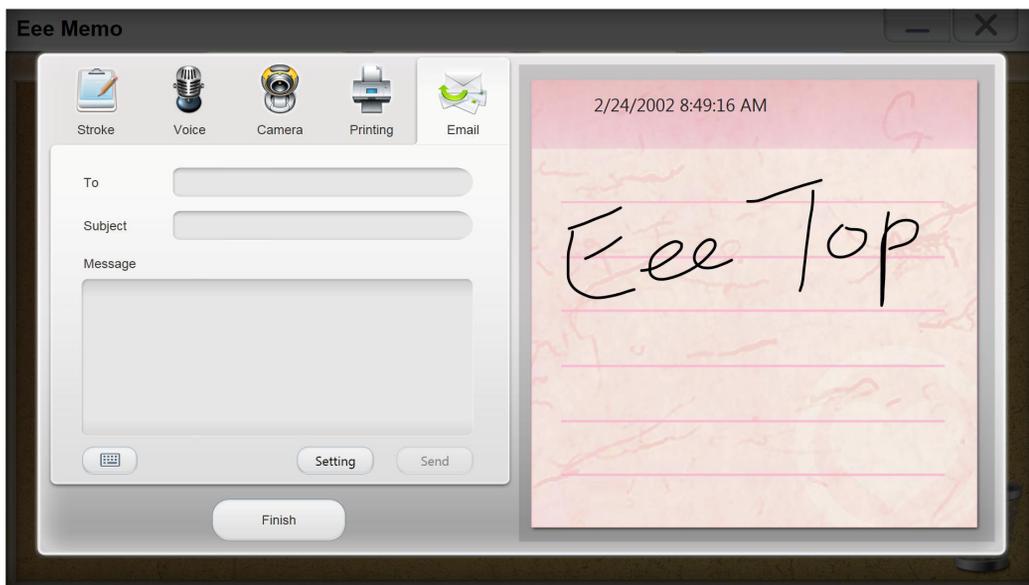
1. Eee Memo を起動します。
2. メール送信するメモをボード上から選択し、ダブルクリックします。
3. 「**Email(電子メール)**」タブを選択します。
4. 受信者のアドレス、件名、メッセージを入力します。
5. 「**Setting(設定)**」をクリックし、メールアカウントに関する必要な情報を入力し、「**Save(保存)**」をクリックします。



- メール設定が必要となるのは、初めてメール送信を行うとき、またはメールアカウントを変更したときだけです。
- アカウントの送信サーバーアドレスに関するご不明な点は、ご契約のプロバイダ様にご相談ください。



6. メッセージの送信準備ができれば、「**Send(送信)**」をクリックし、メモをメール送信します。



Eee Cam

Eee Cam は単独で使用、またはインスタントメッセージツール (Windows Live Messenger、Skype など) と合わせて使用することで、便利な機能を追加でき、よりクリエイティブにWebcamを使用できます。

Eee Cam は次の機能をサポートしています。

- Webcam画像やビデオに、エモーションエフェクト、フレーム、フィルター、ディストーション (ゆがみ) などの効果を追加
- Webcam 画像への手描き入力
- スナップショットや連続 Webcam 写真撮影
- Webcam ビデオの各種録画 (インスタント録画、予約録画、コマ撮り、動作検出録画)
- Webcam ビデオのYouTube® へのアップロード
- Webcam 写真・ビデオのEee Cam から他のユーザーへのメール送信
- Webcam 写真の印刷
- Webcam セッション中のPowerPoint ファイルと画像ファイルの共有と表示

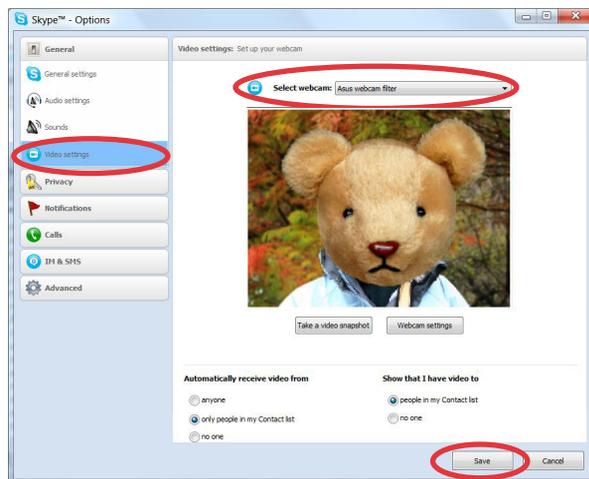
Eee Cam を有効にする

Eee Cam をインスタントメッセージャーで使用する前に、Eee Cam を有効にする必要があります。Eee Cam を有効にすると、内蔵Webcamとマイクがソフトウェアと一緒に有効になります。ここでは例として、Eee Cam を Skype™ で有効にする手順を説明します。



- 設定の前に、Skype にログインする必要があります。
- プログラムの互換性のため、Yahoo! Messenger とQQで音声通話を利用する際は、SRS Premium Soundを無効にする必要があります。

1. 「Skype (スカイプ)」メインウィンドウで、「Tools (ツール)」タブをクリックして、次に、「Options (オプション)」をクリックします。
2. 「Video Settings (ビデオ設定)」をクリックします。
3. 「Select webcam (Webcam を選択する)」ボックスで、「ASUS webcam filter (ASUS Webcam フィルター)」を選択して、「Save (保存)」をクリックします。



Eee Cam を起動する

Eee Cam は次のいずれかの方法で起動できます。

- **Eee Bar** にある **Eee Cam** アイコンをクリックします。
- インスタントメッセージャーでビデオチャットを開始すると、Eee Cam が自動的に起動します。(Eee Cam を事前に有効にする必要があります)



Eee Cam モード

Eee Cam には次のモードがあります。モードはプログラムの起動方法によって異なります。なお、特定のモードでしか使用できない機能もあります。

- **Stand Alone Mode (スタンドアロンモード)**: デスクトップアイコンをクリックしてEee Cam を起動すると、画面の大きい Stand Alone Mode (スタンドアロンモード) で開きます。



- **IM (Instant Messaging) Mode (IM [インスタントメッセージング]) モード**: インスタントメッセージングプログラムを使って Eee Cam を開始すると、画面の小さい IMモードで開きます。



特殊効果を適用する

Eee Cam は特殊効果とドローイングツール(描画ツール)を提供します。特殊効果とドローイングツール(描画ツール)は、スタンドアロンモードと IM モードの両方のモードでライブ Webcam 画像に適用できます。適用すると、接続している相手は効果を直ぐに見ることができます。これらの効果は、スナップショットや Webcam ビデオにも適用できます。

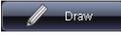


エモーションエフェクト

- **Emotion effects (エモーションエフェクト)**: Webcam 画像に適用します。効果は数秒で非表示になります。
- **Frames (フレーム)**  : Webcam 画像に適用します。効果は、他の効果を選択するか、または、**Clear effect (効果をクリアする)** ボタン  をクリックするまで表示された状態になります。このルールは次の効果にも当てはまります。
- **Filters (フィルター)**  : Webcam 画像に適用します。
- **Distortions (ディストーション)**  : Webcam 画像に適用します。

ドローイングツール

Webcam 画像に絵を描く

1. **Draw (描画)** ボタン  をクリックします。
2. **Drawing Tools (描画ツール)** パネルで、**Pen (ペン)** 、**Stamp (スタンプ)** 、または、**Eraser (消しゴム)**  ツールのいずれかを選択します。マウスまたは指を使って Webcam 画像に描画します。
3. 描いた絵を Webcam 画像から削除するには、**Clear all (すべてクリア)**  ボタンをクリックします。



写真を撮影する

Snapshot (スナップショット) をクリックして現在の Webcam ビデオのスナップショット写真を撮影します。撮影した画像はキャプチャコンテンツの枠内に表示され、初期設定で「マイドキュメント」の「Eee Cam」に保存されます。



写真撮影中、またはビデオ録画中は、**Timestamp**  をONにし、写真・ビデオをキャプチャした時刻を表示できます。また、**Countdown timer**  をONにし、タイマー撮影・録画も可能です。

ビデオを録画する

Eee Cam を使って、ライブ Webcam ビデオの撮影ができます。特殊効果を使用することもできます。

Capture (録画)

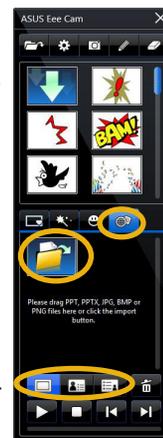
1. 「**Capture (録画)**」ボタンをクリックします。
2. 現在表示されているWebcam ビデオの録画を開始します。録画中のビデオに各種効果を追加することもできます。
3. 録画を停止するには、「**Stop**」ボタンをクリックします。
4. ビデオはキャプチャコンテンツの枠内に表示されます。ファイルは初期設定で「**マイドキュメント**」の「**Eee Cam**」に保存するように設定されています。

ドキュメントを共有する

IM モードでは、Webcam セッション中に、ドキュメントを共有して表示できます (PPT、JPG、BMP、または、PNG フォーマット)。

手順

1. 「IM Mode (IMモード)」ウィンドウで「**Sharing (共有)**」タブをクリックします。
2. 「**Import (インポート)**」ボタンをクリックするか、または、共有するファイルを枠内にドラッグします。
3. 「**Play (再生)**」ボタンをクリックして、共有ドキュメントを Webcam ウィンドウに表示します。
4. 表示モードをオプション  から選択します。
5. 「**Clear effect (効果をクリアする)**」ボタン  をクリックして、共有ドキュメントの表示を終了し、通常の Webcam セッションに戻ります。



その他の機能

ビデオを YouTube にアップロードする、ビデオや写真を他のユーザーにメール送信することができます。また、Webcam 写真の削除、撮影したビデオや写真を削除することも可能です。



Eee Cam の設定

「Settings (設定) 」をクリックし「Capture」、「Display」、「Document」、「Timestamp」の設定が可能です。

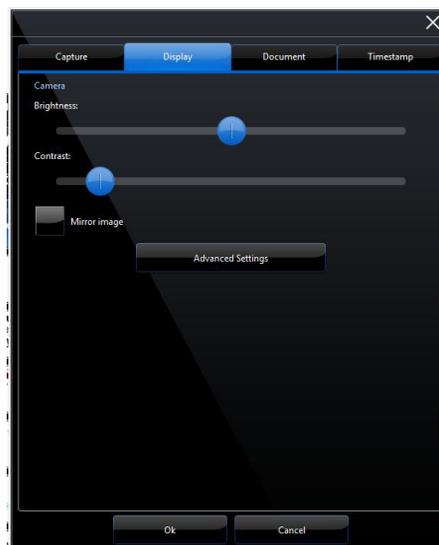
Capture

キャプチャデバイス、キャプチャした画像の保存先フォルダ、ビデオの画質等の設定が可能です。設定を保存するには「OK」をクリックします。



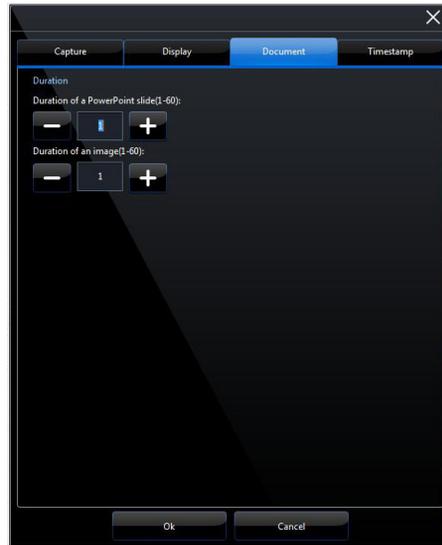
Display

カメラの輝度、コントラスト、等の詳細設定が可能です。設定を保存するには「OK」をクリックします。



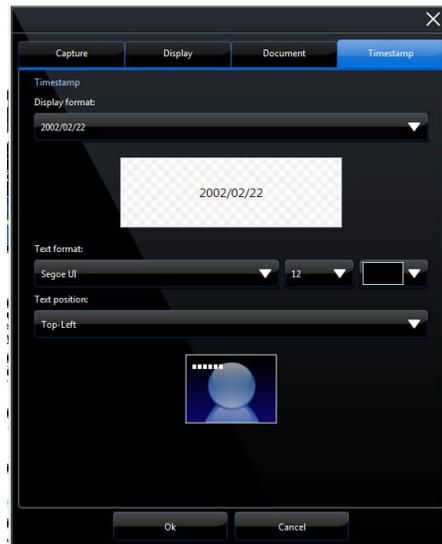
Document

Powerpoint のスライド表示・画像の表示時間を設定します。



Timestamp

キャプチャ画像に日付を入れることができます。フォーマットとポジションを選択してください。



Manufacturer	ASUSTek COMPUTER INC.
Address, City	No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C
Country	TAIWAN
Authorized Representative in Europe	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country	GERMANY